

令和3年度中野区区民公益活動推進基金からの助成事業の決定について

中野区区民公益活動推進基金からの助成事業は、「中野区区民公益活動の推進に関する条例」に基づき、広く区民公益活動に必要な資金の助成を行うために設置した基金を財源として、区民公益活動を行う団体に対して区民公益活動に要する経費の一部を助成し、区民の公益活動を推進することを目的とする。

令和3年度の中野区区民公益活動推進基金からの助成事業について、中野区区民公益活動推進協議会の審査を経て次のとおり決定した。

1. 中野区区民公益活動推進基金からの助成事業の募集期間

令和3年5月24日(月)から6月4日(金)

2. 中野区区民公益活動推進協議会の審査

令和3年7月22日(木)に中野区区民公益活動推進協議会を開催し、申請のあった4事業について、応募団体による公開プレゼンテーション及び事業企画書類をもとに、下表の審査基準に従い総合評価を行った。同協議会においては、評価点24点以上の事業を助成金交付候補事業として選定し、その結果を区長へ報告を行った。

【審査基準】

審査項目及び内容	配点
1. 区民生活への貢献性 (内容)基本構想で描く豊かな地域社会づくりと整合し、区民生活の豊かさの向上に貢献する事業であること。	1点～5点
2. 先駆性・創造性 (内容)先駆的かつ創造的な事業であること。	(1点～5点)×2
3. 発展性・継続性 (内容)継続性(基金助成終了後の展望を含む)や効果の広がりが期待できること。	(1点～5点)×2
4. 実行可能性 (内容)計画全体に無理がなく、実行可能な方法であること。	1点～5点
5. 区民ニーズの把握 (内容)区民ニーズを把握し、需要があること。	1点～5点
6. 経費の妥当性 (内容)申請経費が適当であること。	1点～5点

【審査結果】

(1) 交付団体及び事業

	団体名	事業名	事業内容	申請額／助成額
1	なかの生涯学習サポーターの会	2021 区民が作る中野ユニバーサルデザインマップ (2 回目の助成)	街を知り、地域を知り、住みやすいまちづくりにつながるユニバーサルデザインマップの作成と配付を行う。中野にキャンパスのある明治、帝京平成大学、また東京学芸大留学生の協力を得て、多文化、多世代の多様な視点を取り入れるとともに、行政情報等を取り入れ、区民の生涯学習を通じた社会貢献につながるマップを作成する。	300,000／300,000
2	一般社団法人ねこのて	わくわーく体験 (3 回目の助成)	子どもの想像力と感性を豊かにし、多様性を育むことをめざし、幼児・小学生とその保護者を対象として、朗読や音楽、手作り工作体験など、多様な文化を体験する機会を提供する。新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下での子どもへの影響に配慮し、感染予防対策を講じて実施する。	255,466／255,466
3	中野グリーンアソシエーション	断熱D I Y講座 (2 回目の助成)	自分でできる自宅の断熱対策で家庭からのエネルギーや二酸化炭素の排出量削減を目的として断熱対策方法や断熱すべき箇所などの探し方が学べる講座を実施する。区内の工務店の協力を得るとともに、幼稚園や小学校の父の会と連携して行う。	53,000／53,000

(2) 不交付団体・事業

	団体名	事業名	事業内容	申請額／助成額
1	朗読劇の会 GO緑	音楽朗読劇「ひめゆりの唄」事業	音楽と朗読劇という表現を通して、戦争の悲惨さを風化させないために、国民の一人一人の心に届けるように伝えていく。	300,000／0

3. 交付・不交付の決定内容

上記の審査結果を踏まえた決定内容は次のとおり。

- (1) 交付決定団体・事業数及び交付総額：3 団体・3 事業 交付総額 608,466 円
 (2) 不交付決定団体・事業数 : 1 団体・1 事業